

調査概要

（1）目的

令和8年度の「第3期川崎市こども・若者の未来応援プラン」を策定するにあたり、近年の物価高騰等の影響下における状況やニーズを把握するとともに、養育費や親子交流についても設問を設けることで、国の動向も踏まえながら効果的な支援施策の実施につなげる。

（2）対象

市内ひとり親家庭 6, 142世帯（児童扶養手当受給資格者・ひとり親家庭等医療費助成制度対象者）

（3）実施期間

令和7年5月7日（水）～令和7年5月31日（土）

（4）実施方法

配布・・・郵送

回答・・・インターネット

※紙での回答希望があった際は、調査票郵送配布及び郵送による回収を実施（2件対応し、回答は1件）。

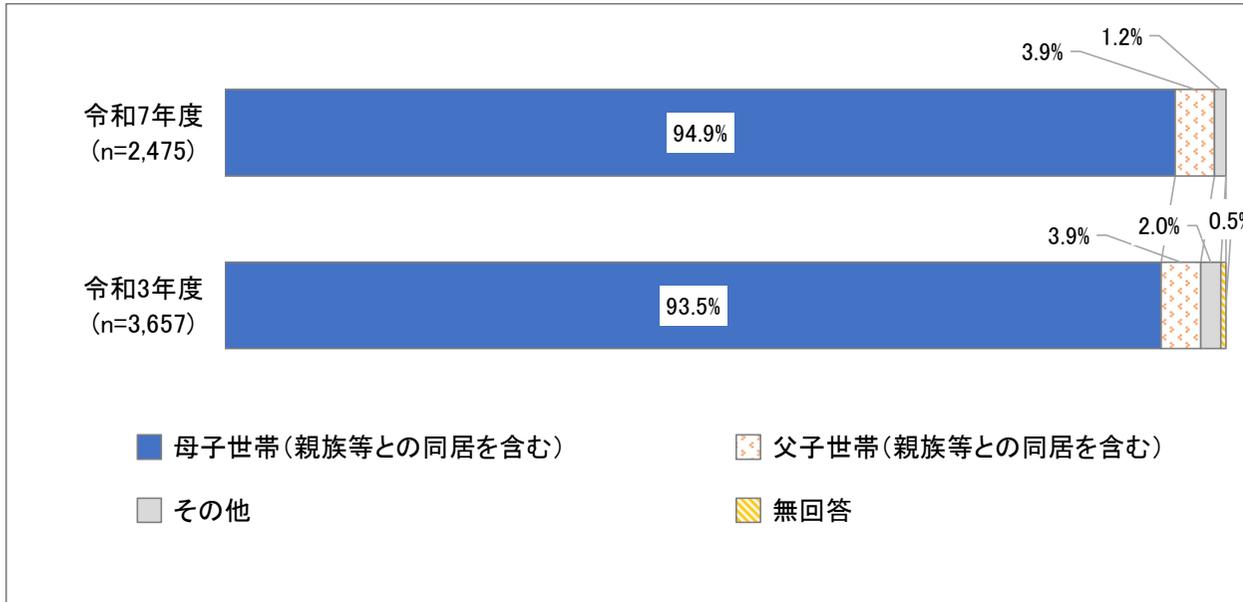
（5）回答件数及び回答率

配布件数	回答件数	回収率
6, 142件	2, 475件	40.3%

調査結果（抜粋）

（1）ひとり親家庭の状況について

●世帯の状況

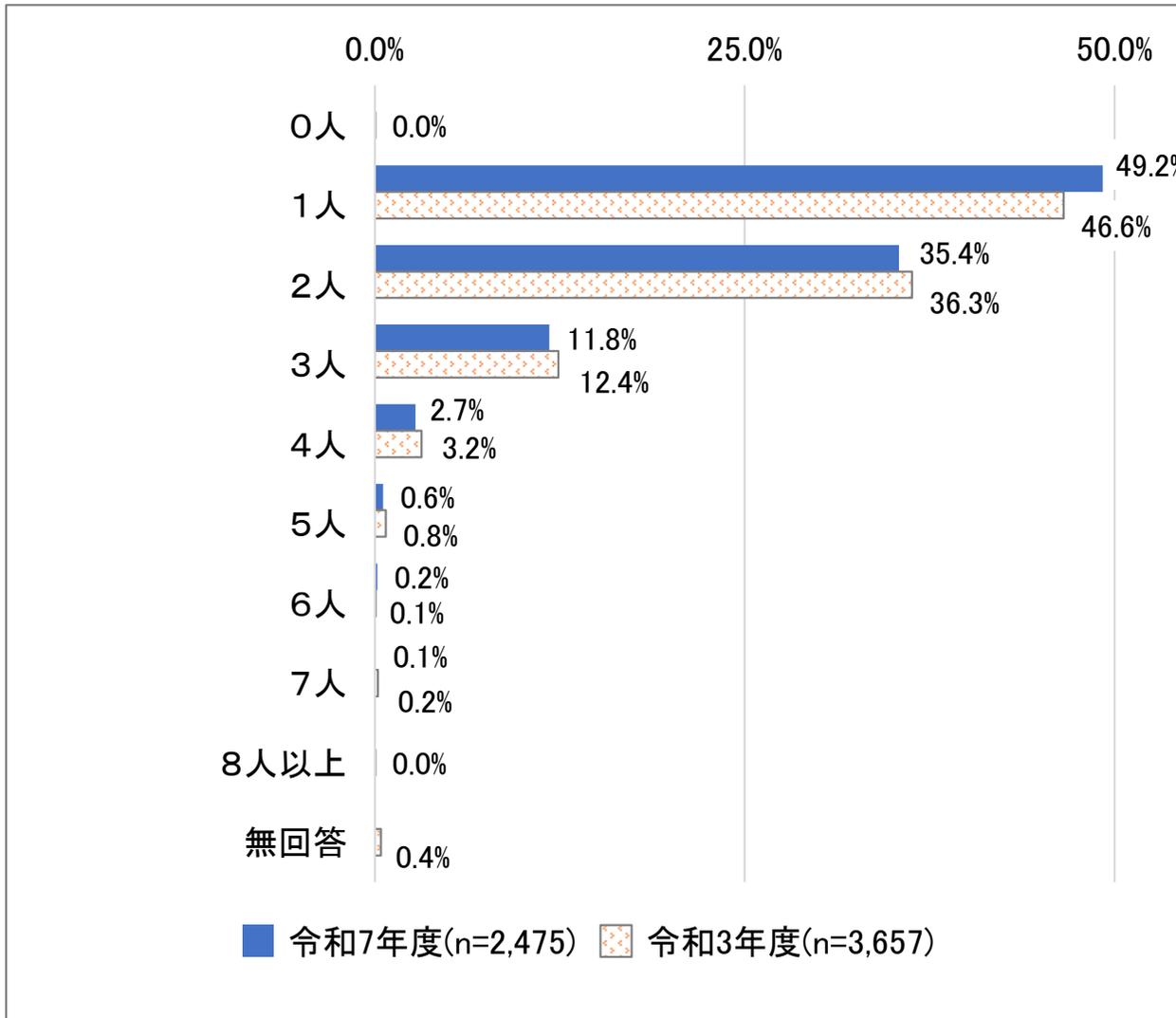


●世帯の状況について、ひとり親家庭の約95%が「母子世帯」で、前回比較では、大きな差は見られなかった

調査結果（抜粋）

（1）ひとり親家庭の状況について

●子どもの人数



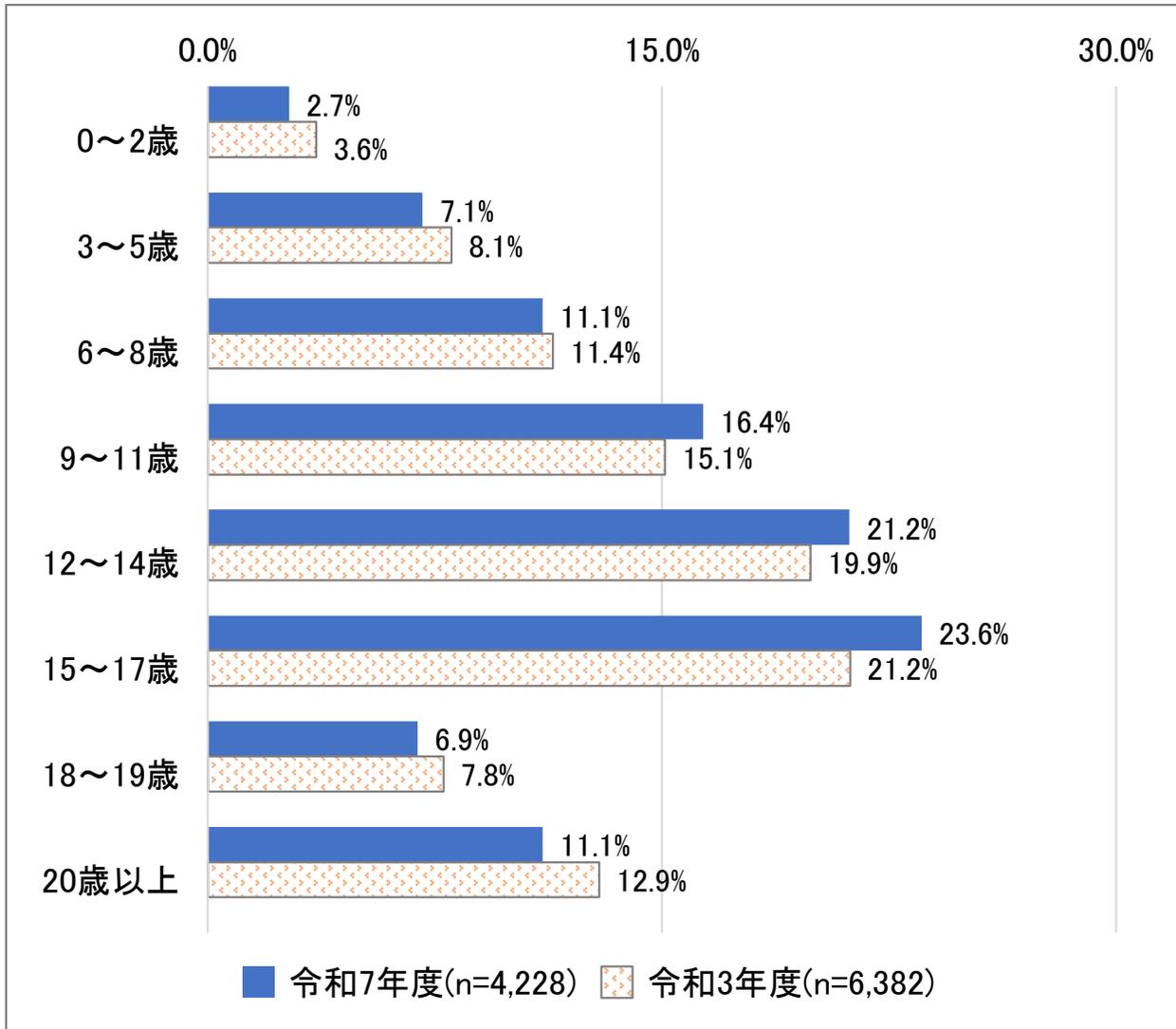
●子どもの人数について、「1人」が49.2%と最も高く、次いで、「2人」（35.4%）、「3人」（11.8%）と続いている

●前回比較では、「1人」で2.6ポイント増加した

調査結果（抜粋）

（1）ひとり親家庭の状況について

●子どもの年齢



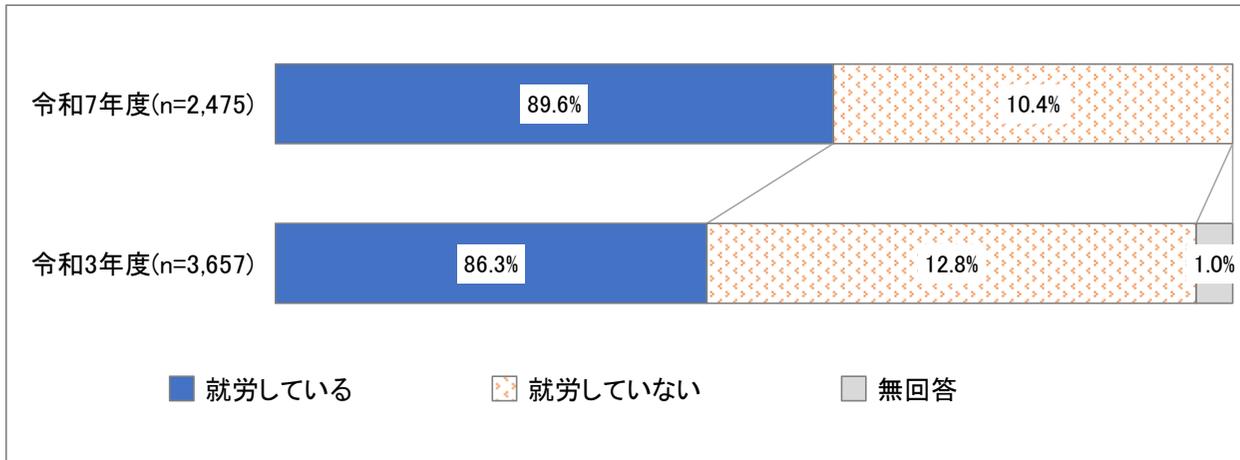
●子どもの年齢について、「15～17歳」が23.6%と最も高く、次いで、「12～14歳」(21.2%)、「9～11歳」(16.4%)と続いている。

●前回比較では、「9～17歳」で割合が増加している

調査結果（抜粋）

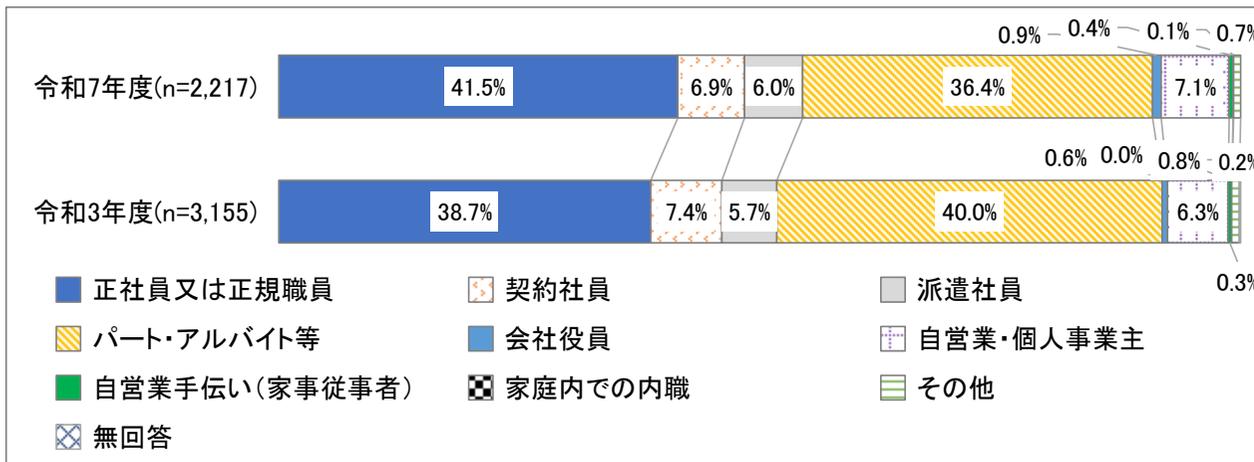
（2）就労について

●就労の状況



●子ども・若者調査の結果と同様に、ひとり親においても就労している割合が前回調査時より増加している

●雇用形態



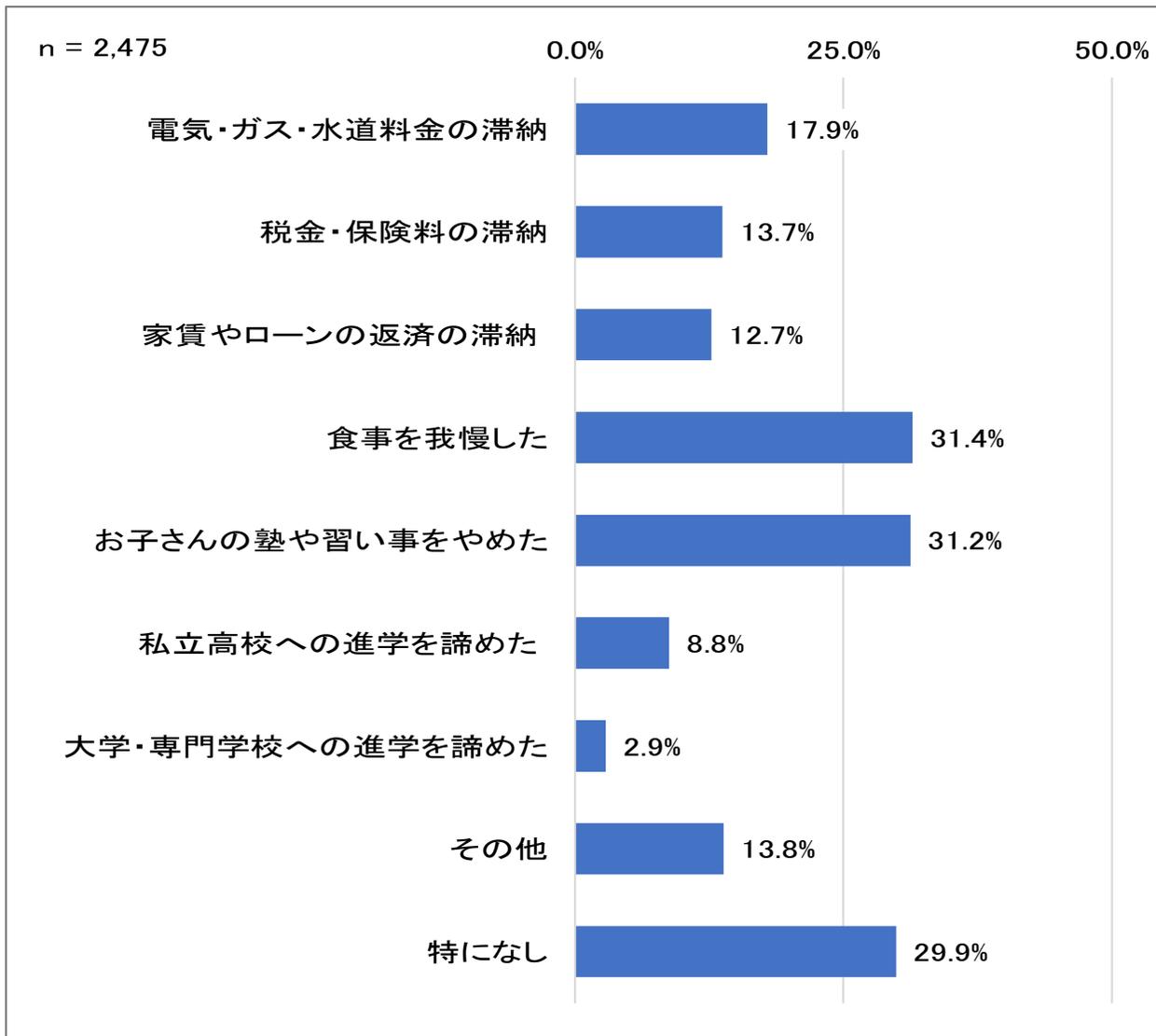
●子ども・若者調査の結果と同様に、ひとり親においても正社員又は正規職員の割合が前回調査時より増加している

※令和3年度については、無回答を除いて再集計したのになっています

調査結果（抜粋）

（3）経済的な困りごとについて

●経済的な困りごと

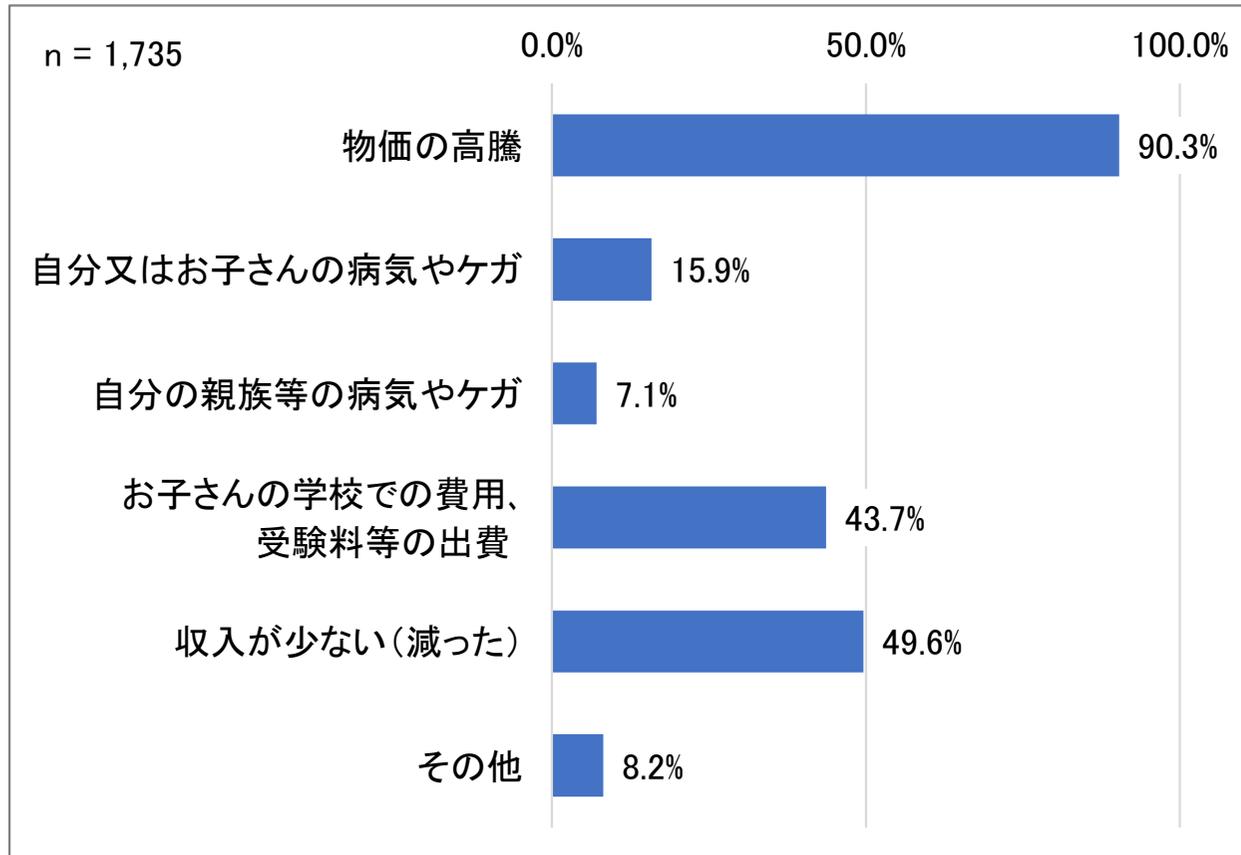


●経済的な困りごとについて、「食事を我慢した」が31.4%と最も高く、次いで、「お子さんの塾や習い事をやめた」(31.2%)、「特になし」(29.9%)と続いている

調査結果（抜粋）

（3）経済的な困りごとについて

● 困りごとの原因

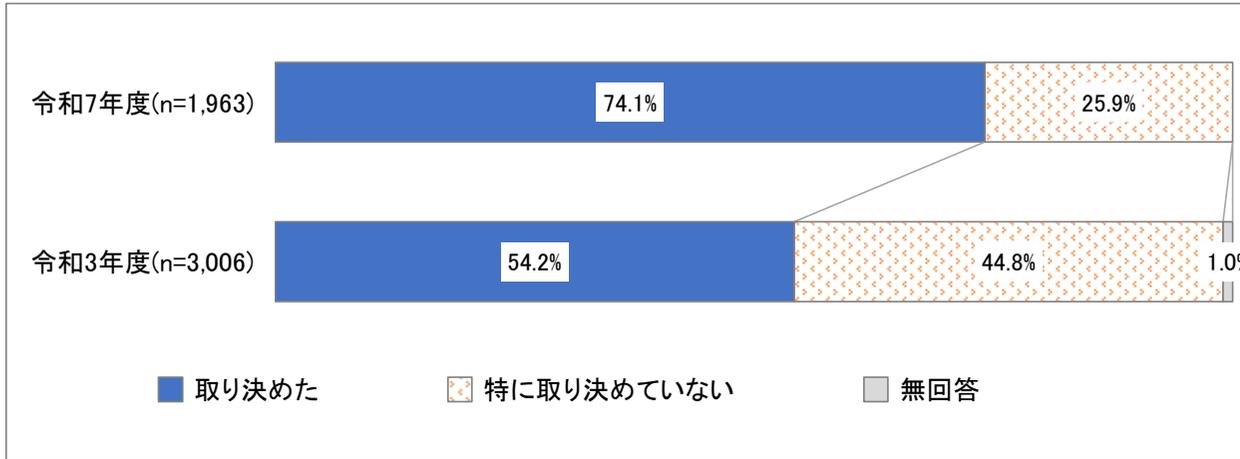


● 困りごとの原因について、「物価の高騰」が90.3%と最も高く、次いで、「収入が少ない(減った)」(49.6%)、「お子さんの学校での費用、受験料等での出費」(43.7%)と続いている

調査結果（抜粋）

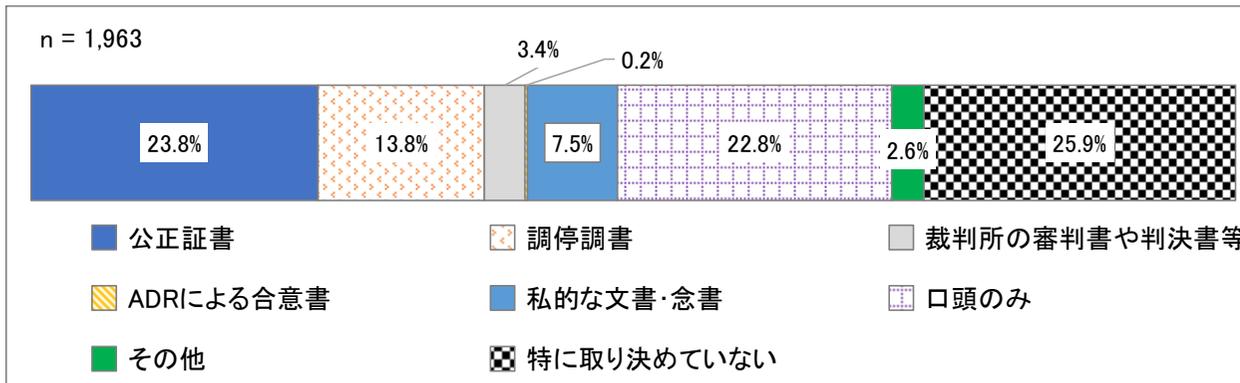
（4）子どもの養育について

●養育費の取決めの有無



●養育費の取決めについて、前回調査時より約20ポイント増加している

●養育費の取決め方法

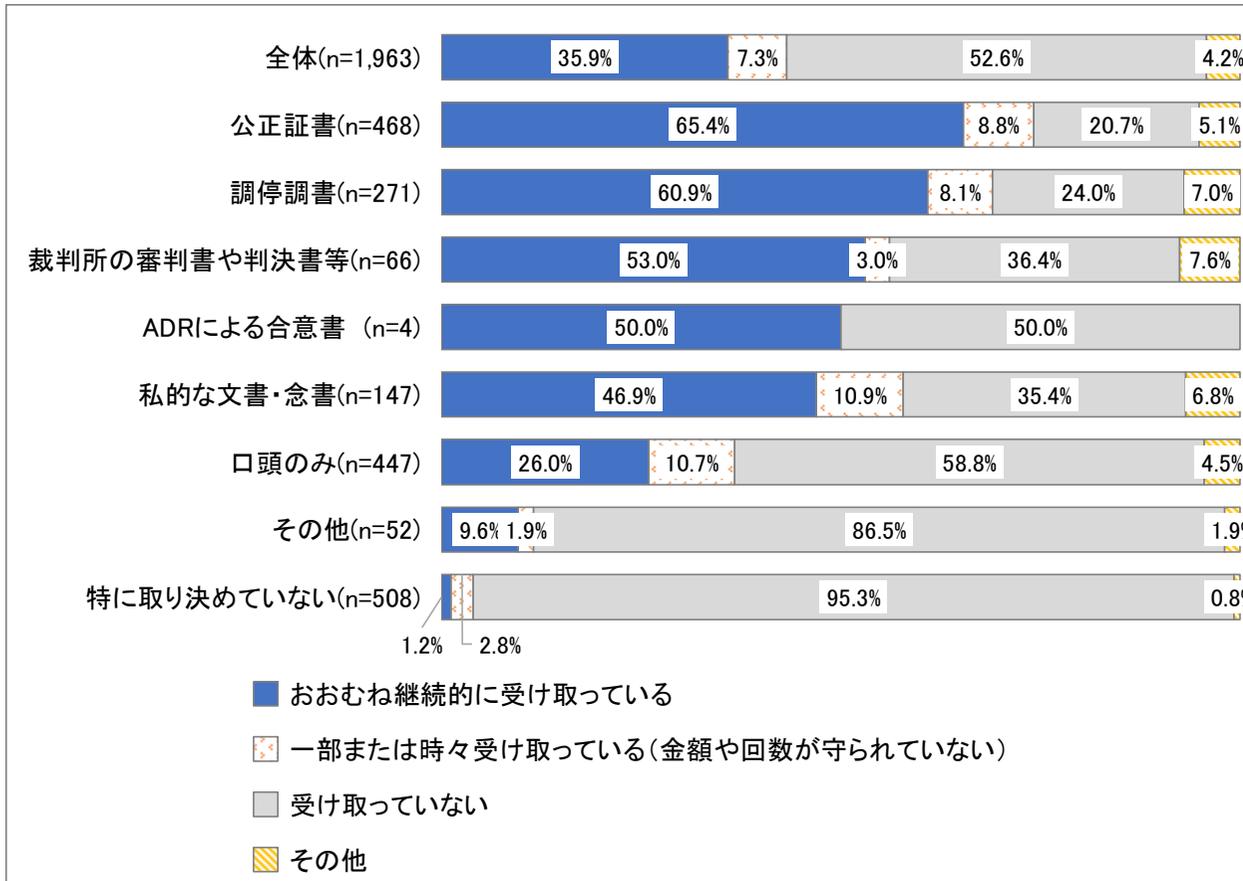


●養育費の取決め方法について、「特に取り決めていない」が25.9%と最も多く、次いで、「公正証書」(23.8%)、「口頭のみ」(22.8%)と続いている

調査結果（抜粋）

（4）子どもの養育について

● 養育費の取決め方法別の受取り状況

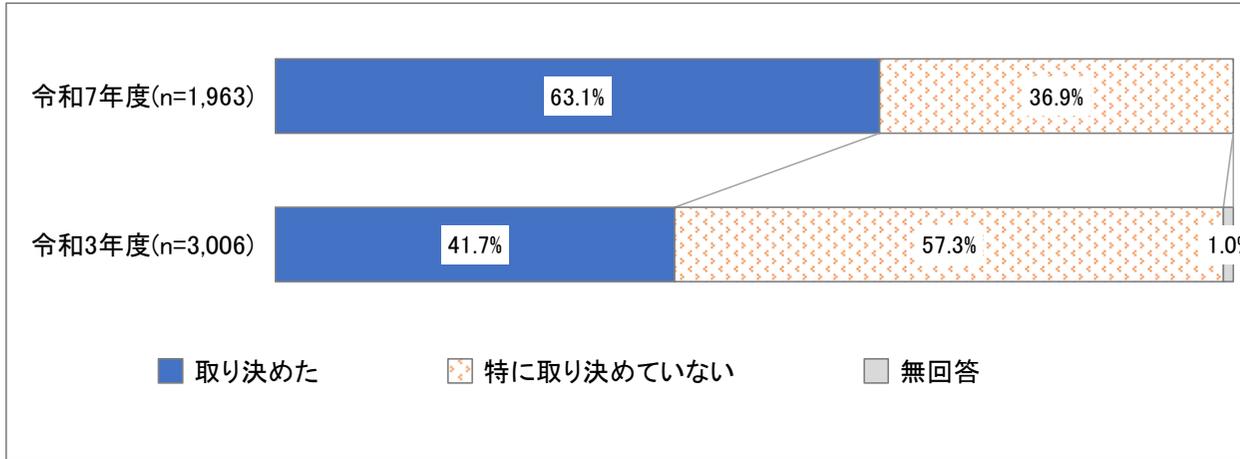


● 養育費の取決め方法別の受取り状況について、公的な文書で決めていると、「おおむね継続的に受け取っている」が50.0%以上となっており、「口頭のみ」や「特に取り決めていない」については、「受け取っていない」の割合が高くなっている

調査結果（抜粋）

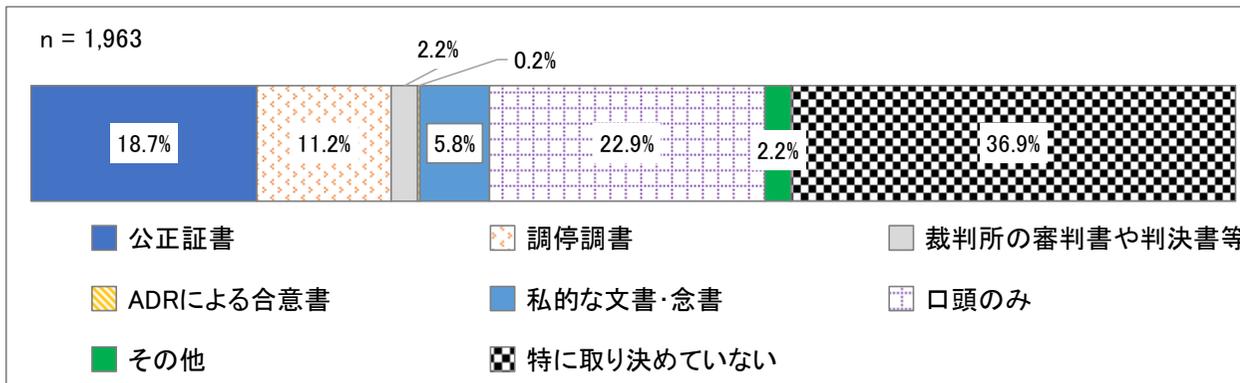
（4）子どもの養育について

●親子交流（面会交流）の取決めの有無



●親子交流（面会交流）の取決めについて、前回調査時より約20ポイント増加している

●親子交流（面会交流）の取決め方法



●親子交流（面会交流）の取決めについて、「特に取り決めていない」が36.9%と最も多く、次いで、「口頭のみ」（22.9%）、「公正証書」（18.7%）と続いている。

調査結果（抜粋）

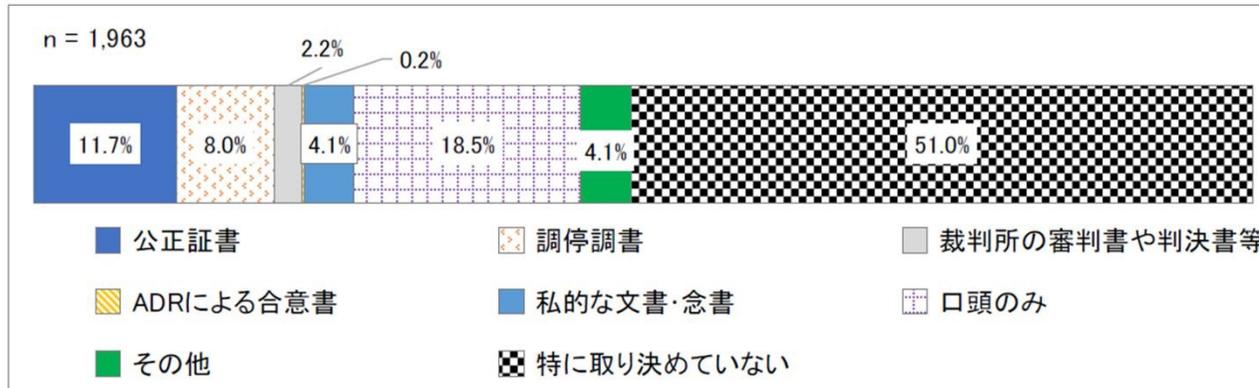
（4）子どもの養育について

● 共同親権の取決めの有無



● 共同親権の取決めについて、「取り決めた」が49.0%、「特に取り決めていない」が51.0%となった。

● 共同親権の取決め方法



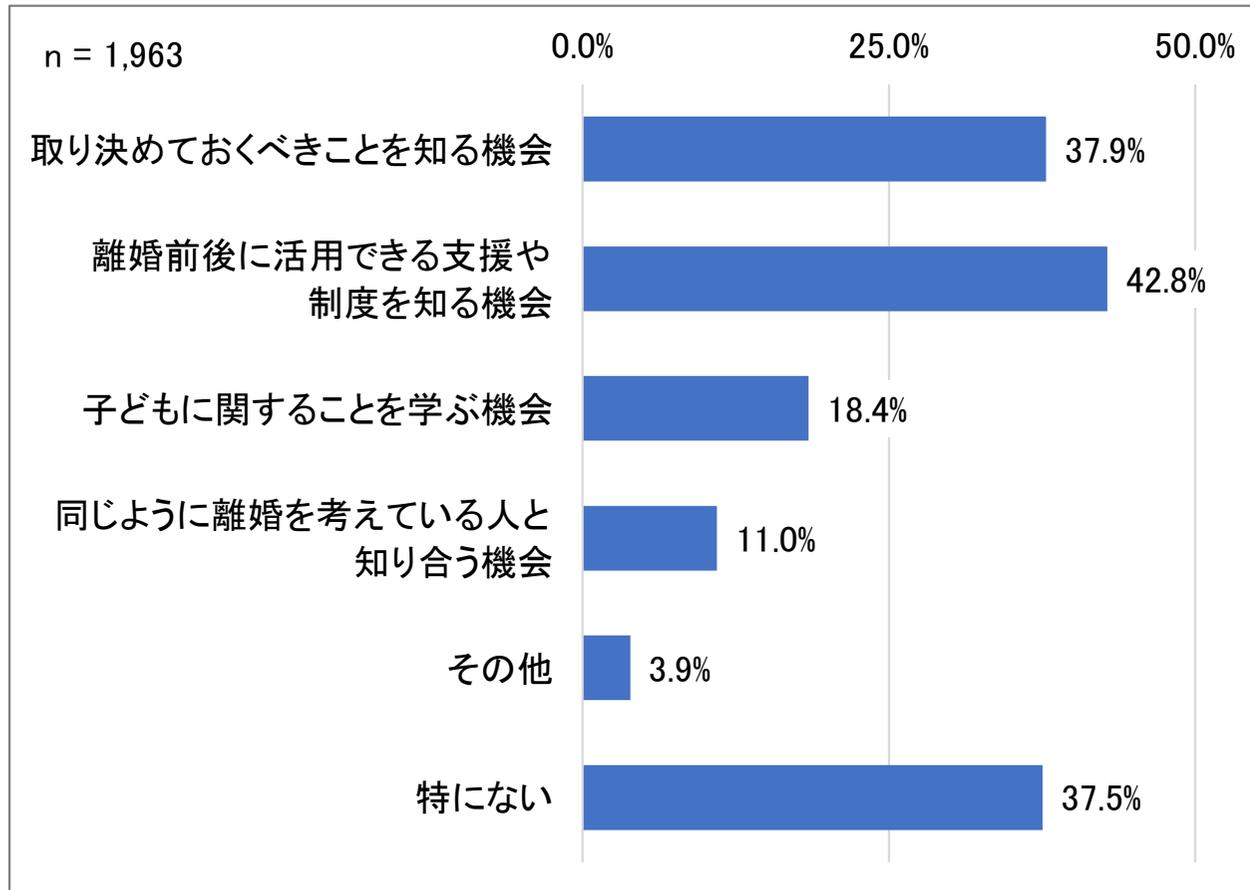
● 共同親権の取決めについて、「特に取り決めていない」が51.0%と最も多く、次いで、「口頭のみ」(18.5%)、「公正証書」(11.7%)と続いている。

※なお、本設問における「共同親権」については、養育費や親子交流以外で、父母が離婚後も共同して子どもの養育を行うことについての取決めの有無を確認する趣旨の設問でしたが、設問内容からこの趣旨が読み取れない可能性があり、今後施行が予定されている改正民法の「共同親権」と混同する可能性があることから、本設問の結果については参考といたします。

調査結果（抜粋）

（5）離婚前に「あればよかった」と思う機会について

- 「あればよかった」と思う機会

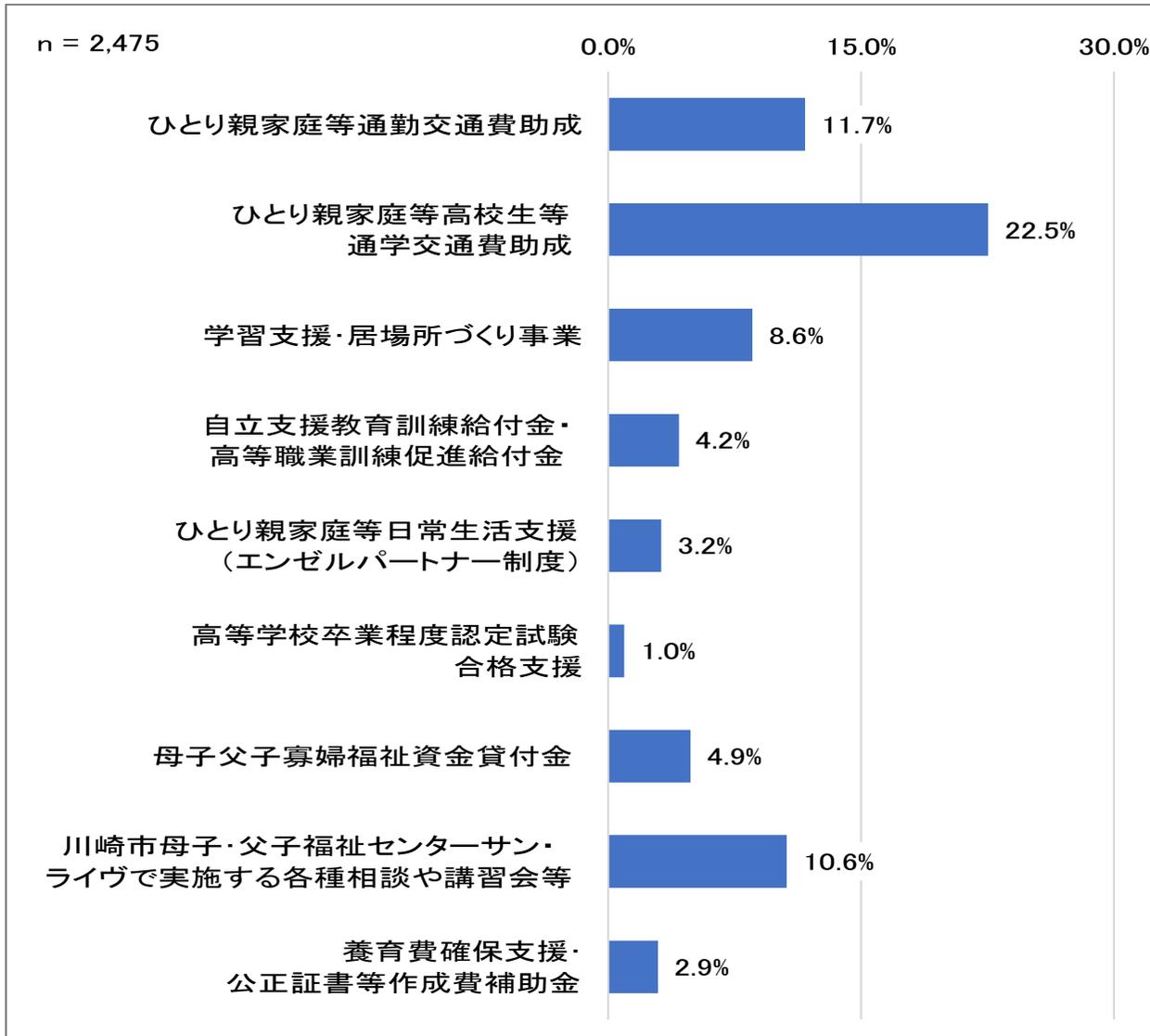


- 離婚前に「あればよかった」と思う機会について、「離婚前後に活用できる支援や制度を知る機会」が42.8%と最も多く、次いで、「取り決めておくべきことを知る機会」(37.9%)、「特にない」(37.5%)と続いている

調査結果（抜粋）

（6）本市の支援施策について

● 支援施策の利用状況

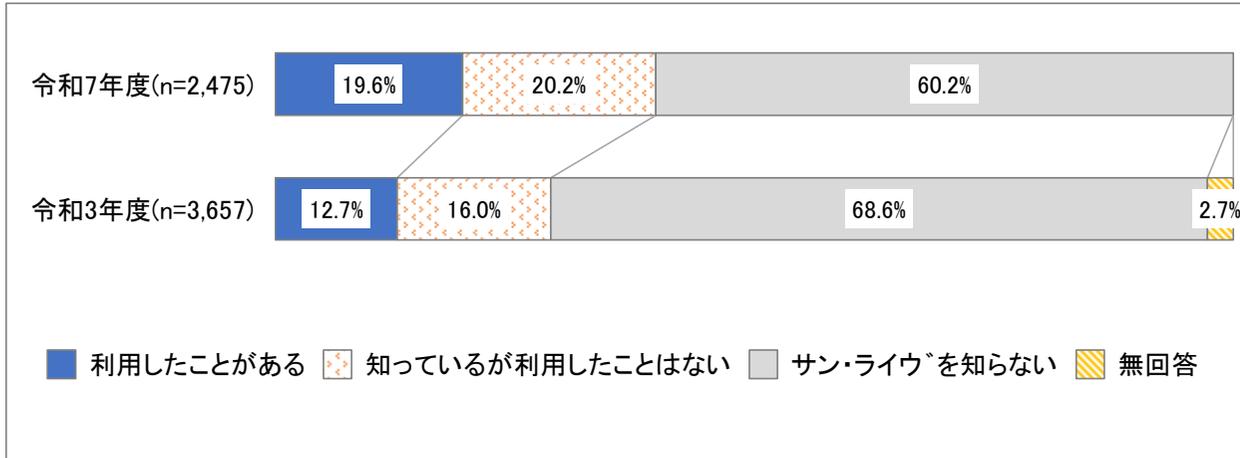


● 支援施策の利用状況について、「ひとり親家庭高校生等通学交通費助成」が22.5%と最も高く、次いで、「ひとり親家庭通勤交通費助成」（11.7%）、「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライブで実施する各種相談や講習会等」（10.6%）と続いている

調査結果（抜粋）

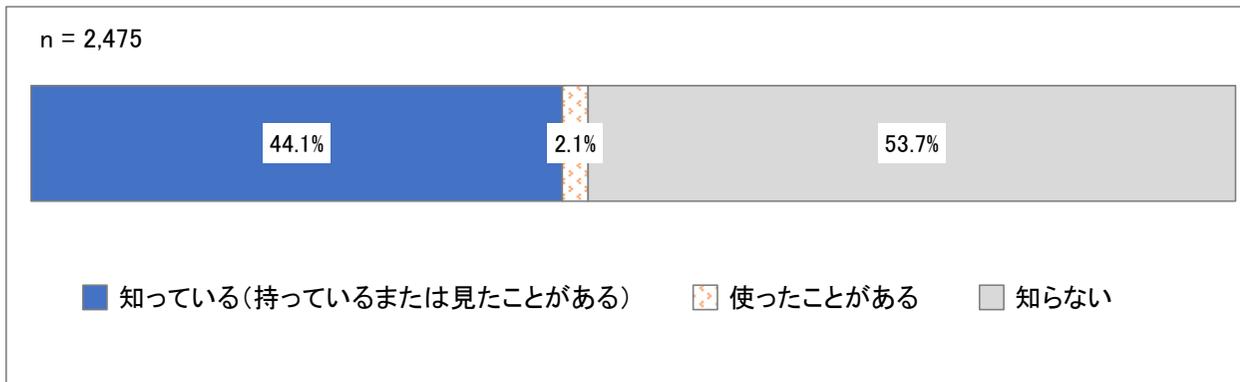
（6）本市の支援施策について

● 「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴ」の認知度



● 「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライヴ」の認知度について、前回調査時より、「利用したことがある」が約7ポイント増加した

● ひとり親家庭サポートガイドブック「まなざし」（Web版を含む）の認知度

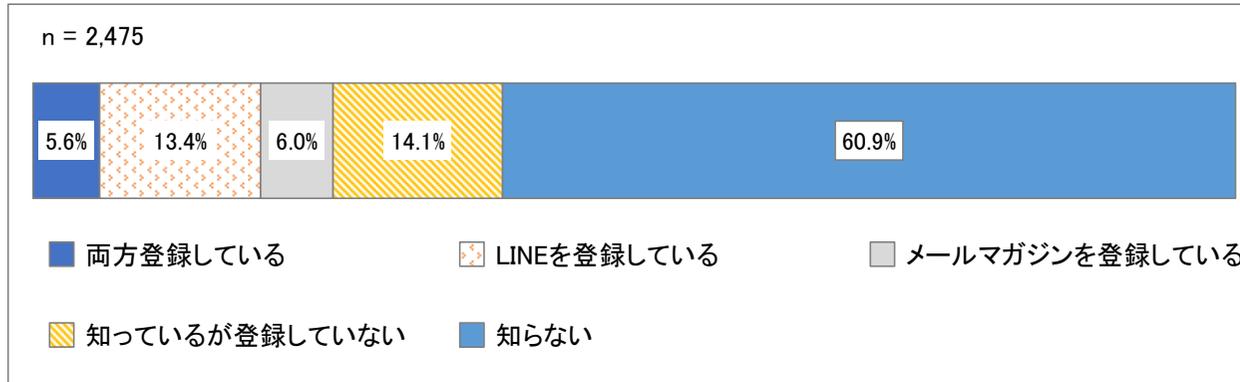


● ひとり親家庭サポートガイドブック「まなざし」（Web版を含む）の認知度について、「知らない」が53.7%と最も多く、「知っている（持っているまたは見たことがある）」が44.1%となっている

調査結果（抜粋）

（6）本市の支援施策について

●ひとり親家庭LINEまたはメールマガジンの登録状況

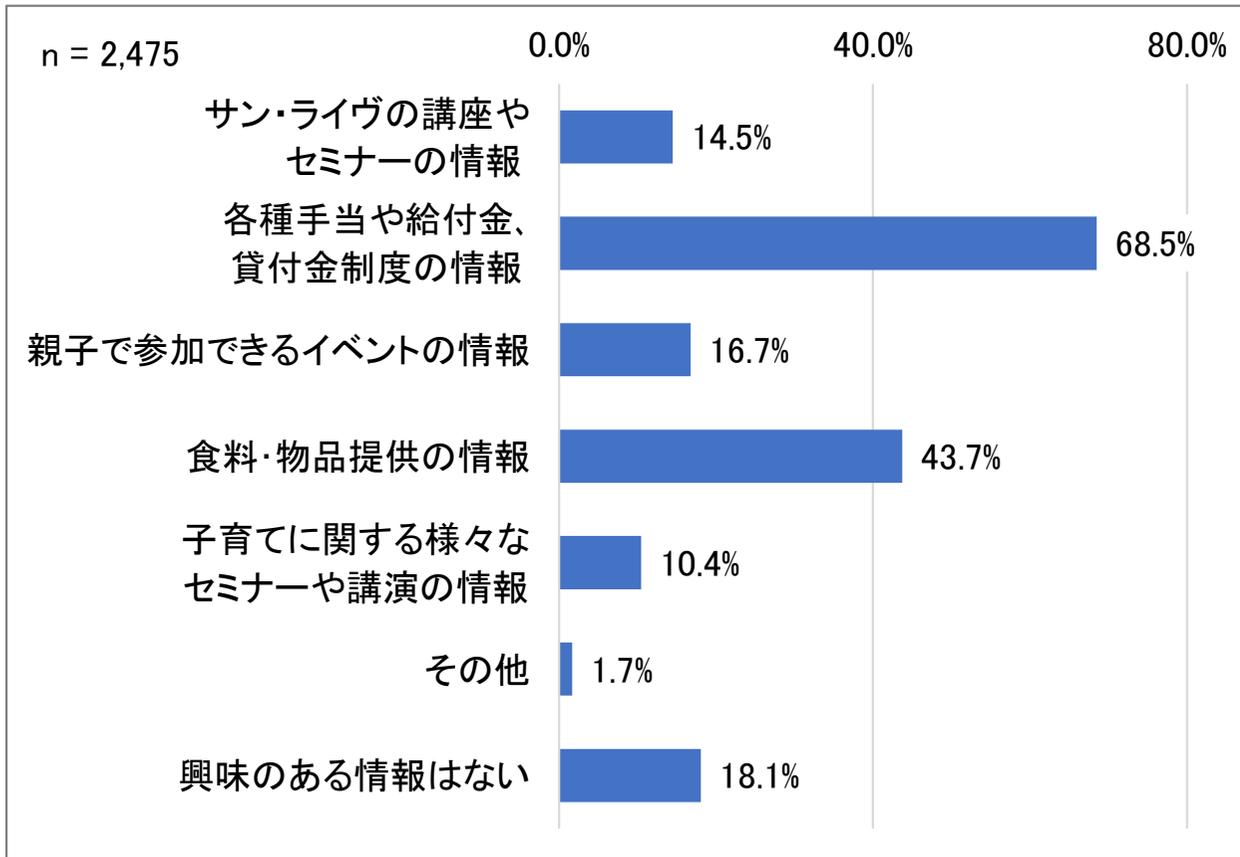


●ひとり親家庭LINEまたはメールマガジンの登録状況について、「知らない」が60.9%と最も多く、次いで、「知っているが登録していない」(14.1%)、「LINEを登録している」(13.4%)と続いている

調査結果（抜粋）

（6）本市の支援施策について

- LINEまたはメールマガジンからの配信で興味のある情報



- 興味のある配信情報について、「各種手当や給付金、貸付金制度の情報」が68.5%と最も多く、次いで、「食料・物品提供の情報」(43.7%)、「興味のある情報はない」(18.1%)と続いている

調査結果（抜粋）

（7）本市の施策に関する御意見について（自由記載）（抜粋）

大項目	分類	記載内容の一例	分類に対する件数
経済的な状況に関すること	教育費に関すること	・給食費の無償化を希望 等	71
	生活費に関すること	・家賃補助や光熱費の補助がほしい 等	53
	手当に関すること	・児童扶養手当の収入制限を撤廃してほしい 等	41
	医療に関すること	・ひとり親家庭に限らず、川崎市民への医療費助成を高校生まで拡大してほしい 等	12
	その他	・貸付金ではなく助成金を増やしてほしい 等	26
子育てに関すること	子育て支援に関すること	・メディアでよく見る学習支援やこども食堂などが身近に無いので増やして欲しい ・支援制度の拡充としては子どもが高校卒業後も学生の間は何らかのサポートや支援等を受けられると助かる 等	18
相談や手続きに関すること	制度に関すること	・高校授業料無償化などの計画や申請方法の早めの情報提供 ・長期で使える家事支援サービス希望 等	60
	窓口対応等に関すること	・子どもに関する手続きの一覧表があると助かる ・サン・ライブ以外でエンゼルパートナーの相談ができるようにしてほしい 等	50
	その他	・ホームページは、相当調べないと出てこない。もっとわかりやすく載せるべきだと思う ・書類の記載方法や提出物がわかりづらい。サイトもわかりづらく、結局電話することになるので改善してほしい 等	19

令和7年度川崎市ひとり親家庭に関するアンケート調査項目

※「その他（）」は自由記述とする。

番号	カテゴリ	質問	回答方法	選択肢
1	基本	お住まいの区はどちらですか。	単一 選択	1. 川崎区 2. 幸区 3. 中原区 4. 高津区 5. 宮前区 6. 多摩区 7. 麻生区 8. 川崎市外
2	基本	現在の世帯の状況は次のうちどれですか。	単一 選択	1. 母子世帯（親族等との同居を含む） 2. 父子世帯（親族等との同居を含む） 3. その他（）
3	基本	あなたの年齢（令和7年4月1日時点）を入力してください。	入力	年齢 歳
4	基本	ひとり親になったときの年齢を入力してください。	入力	年齢 歳
5	基本	ひとり親世帯となった理由は次のうちどれですか。	単一 選択	1. 離婚 2. 死別 3. 未婚のひとり親 4. その他
6	基本	あなたのご家庭は現在、児童扶養手当を受けていますか。	単一 選択	1. 受けている 2. 受けていない
7	基本	あなたのご家庭は現在、ひとり親家庭等医療費助成を受けていますか。	単一 選択	1. 受けている 2. 受けていない
8	基本	あなたのご家庭は現在、生活保護を受けていますか。	単一 選択	1. 受けている 2. 受けていない
9	基本	現在の住居は次のうちどれですか。	単一 選択	1. 民間賃貸住宅 2. 市営住宅 3. 県営住宅 4. 公社・公団（UR）の賃貸 5. 親・親族の住宅に同居 6. 社宅・社員寮 7. 母子生活支援施設 8. 持ち家（戸建・分譲マンション） 9. その他
10	基本	月々の住居費（管理費等含む）について、あてはまるものを選んでください。（ご自身の負担している金額のみ）	単一 選択	1. 負担なし 2. 3万円未満 3. 3～5万円未満 4. 5～7万円未満 5. 7～10万円未満 6. 10～15万円未満 7. 15～20万円未満 8. 20～25万円未満 9. 25万円以上
11	子ども	お子さんの人数を選択してください。	単一 選択	お子さんの人数 人
12	子ども	お子さんの年齢（令和7年4月1日時点）と修学（就職）状況を、年齢が上の子から順に、それぞれ入力してください。	入力	年齢 歳

※「その他（）」は自由記述とする。

番号	カテゴリ	質問	回答方法	選択肢
13	子ども	お子さんの修学（就職）状況と進学希望について伺います。		
13①	子ども	お子さんの修学（就職）状況を、選択してください。	単一 選択	1. 小学校入学前 2. 小学校 3. 中学校 4. 高校 5. 高等専門学校 6. 短大・大学・専門学校 7. 大学院 8. その他の各種学校 9. 就労 10. その他
13②	子ども	お子さんの進学について、どこまで進学させたいと思いますか。	単一 選択	1. 中学校 2. 高校 3. 高等専門学校 4. 短大・大学・専門学校 5. 大学院 6. その他の各種学校 7. その他（） 8. 未定
14	相談・支援	あなたの身近に、支援や援助をしてくれる人や、相談相手がありますか。 （行政やNPO等の団体を除く） あてはまるものを全て選択してください。	複数 選択	1. いない 2. 自分の親 3. 自分の親族（親以外） 4. 知人・友人 5. 元配偶者 6. 元配偶者の親族 7. その他（）
15	相談・支援	設問14で選択した人から受けている支援として、あてはまるものを全て 選択してください。	複数 選択	1. 家事・育児 2. 金銭 3. 食料品・生活用品 4. 相談相手・話し相手 5. その他（）
16	相談・支援	支援を受けたい時、あなたの身近な人以外で最初の相談先として思う ところはどれですか。	複数 選択	1. 区役所の窓口 2. 川崎市母子・父子福祉センター サン・ライヴ 3. ひとり親家庭を支援する民間団体 4. 保育所、幼稚園、学校 5. インターネット等の情報 6. ホームページの制度のページ等にある担当部署 7. わからない 8. その他（）
17	収入・就労	あなたは現在、就労していますか。（自営業も含む）	単一 選択	1. 就労している 2. 就労していない
18	収入・就労	現在の就労先はいくつありますか。（自営業をされている場合は1つと してカウントしてください。）	単一 選択	1. 1つ 2. 2つ 3. 3つ 4. 4つ以上
19	収入・就労	現在の主な就労先の雇用形態を教えてください。	単一 選択	1. 正社員・正規職員 2. 契約社員 3. 派遣社員 4. パート・アルバイト 5. 会社役員 6. 自営業・個人事業主 7. 自営業手伝い 8. 家庭内での内職 9. その他（）
20	収入・就労	1週間の平均的な就業時間を教えてください。（時間外・残業の時 間・休憩時間等を含む） 就労先が複数ある場合は、合計時間で選択してください。	単一 選択	1. 15時間未満 2. 15時間～25時間未満 3. 25時間～35時間未満 4. 35時間～40時間未満（7～8時間×5日程度） 5. 40時間超

※「その他（）」は自由記述とする。

番号	カテゴリ	質問	回答方法	選択肢
21	収入・就労	あなたの年間の収入（手取りではなく額面）を選択してください。 給与のほか、その他の収入がある場合はそれを含めて選択してください。 （手当、年金、養育費は除く）	単一 選択	1. 0円 2. 100万円未満 3. 100万円～200万円未満 4. 200万円～300万円未満 5. 300万円～400万円未満 6. 400万円～500万円未満 7. 500万円～600万円未満 8. 600万円以上 9. 分からない
22	収入・就労	転職・就職、資格取得などによるキャリアアップや処遇改善を考えていますか。	単一 選択	1. 現在考えている 2. いずれ考えたい 3. 考えていない
23	収入・就労	キャリアアップ等を考えたときにネックと覚えることはなんですか。	複数 選択	1. 責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安 2. 転職や資格取得の時間がとれない 3. 条件に合う就労先がない 4. 新たな職場になることへの不安 5. その他（） 6. 特になし
24	収入・就労	キャリアアップ等を考えていない理由はなんですか。	複数 選択	1. 責任や勤務時間の増加による子育て・家事との両立への不安 2. 転職や資格取得の時間がとれない 3. 条件に合う就労先がない 4. 新たな職場になることへの不安 5. 収入や待遇に満足している 6. 考える余裕がない 7. その他（）
25	収入・就労	過去1年間で、日常生活をするうえで経済的な（お金による）困りごと はありましたか。あてはまるものすべて選択してください。	複数 選択	1. 電気・ガス・水道料金の滞納 2. 税金・保険料の滞納 3. 家賃やローンの返済の滞納 4. 食事を我慢した 5. お子さんの塾や習い事をやめた 6. 私立高校への進学を諦めた 7. 大学・専門学校への進学を諦めた 8. その他（） 9. 特になし
26	収入・就労	お金による困りごととなった原因として思い当たることを選択してください。	複数 選択	1. 物価の高騰 2. 自分又はお子さんの病気やケガ 3. 自分の親族等の病気やケガ 4. お子さんの学校での費用、受験料等の出費 5. 収入が少ない(減った) 6. その他（）
27	離婚	離婚の際に、第三者を交えた交渉や審判を行いましたか。 行った場合は利用した制度を選択してください。	複数 選択	1. 当人同士の話し合いのみ（制度利用なし） 2. 調停・審判（裁判所での話し合い） 3. 裁判（裁判所に判決を求める） 4. ADRによる話し合い（民間紛争解決手続） 5. その他（）
28	離婚	離婚の際、次の①～③の内容について、取り決めの方法としてあてはまるもの を選択してください。 ①養育費 ②親子交流（面会交流） ③共同親権	単一 選択	1. 公正証書 2. 調停調書 3. 裁判所の審判書や判決書等 4. ADRによる合意書 5. 私的な文書・念書 6. 口頭のみ 7. その他（） 8. 特に取り決めていない
29①	離婚	設問28の内容以外で、お子さんの養育にかかる条件で取り決めた内容 があれば教えてください。（赤字部分は強調）	自由 記述	
29②	離婚	取り決めの方法としてあてはまるものを選んでください。	単一 選択	1. 公正証書 2. 調停調書 3. 裁判所の審判書や判決書等 4. ADRによる合意書 5. 私的な文書・念書 6. 口頭のみ 7. その他（）

※「その他（）」は自由記述とする。

番号	カテゴリ	質問	回答方法	選択肢
30	離婚	設問28の内容の取決めを行っていない理由としてあてはまるものをすべて選択してください。	複数選択	1. 自身の要因（必要性を感じなかった、協議をできる状況ではなかった、等） 2. 元配偶者の要因（協議をできる状況ではなかった、養育費の支払い能力がない、等） 3. 協議を行ったが意見が折り合わなかった 4. 協議にかかる費用負担が大きかった 5. 相談できる機関を知らなかった 6. その他（）
31	離婚	養育費の受け取りの状況を教えてください。	単一選択	1. おおむね継続的に受け取っている 2. 一部または時々受け取っている（金額や回数が守られていない） 3. 受け取っていない 4. その他（）
32	離婚	養育費の平均的な金額（月額）を教えてください。	単一選択	1. 1万円未満 2. 1～3万円未満 3. 3～5万円未満 4. 5～7万円未満 5. 7～10万円未満 6. 10～15万円未満 7. 15万円以上
33	離婚	親子交流（面会交流）の実施状況を教えてください。	単一選択	1. 現在も会っている 2. 以前は会っていたが、今は会っていない 3. 一度も会ったことがない 4. その他（）
34	離婚	親子交流（面会交流）を行わない（行うことができない）理由として思うことがあれば教えてください。	複数選択	1. 元配偶者と関わりたくない・お子さんを会わせたくない 2. 元配偶者がお子さんと会いたがらない・連絡がとれない 3. お子さんが元配偶者に会いたがらない 4. その他（）
35	離婚	離婚をする前に「あればよかった」と思う機会があれば教えてください。	複数選択	1. 取り決めておくべきことを知る機会 2. 離婚前後に活用できる支援や制度を知る機会 3. 子どもに関することを学ぶ機会 4. 同じように離婚を考えている人と知り合う機会 5. その他（） 6. 特にない
36	施策	「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライブ」を利用したことがありますか。	単一選択	1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. サン・ライブを知らない
37	施策	「川崎市母子・父子福祉センターサン・ライブ」を利用していない理由を教えてください。	複数選択	1. 興味のある事業やイベントがない 2. 利用する必要がない 3. サン・ライブが遠い 4. 何をしているところか分からない 5. その他（）
38	施策	ひとり親家庭同士で交流する機会がほしいと思いますか。	単一選択	1. ほしいと思う 2. ややほしいと思う 3. あまりほしいと思わない 4. ほしいと思わない

※「その他（）」は自由記述とする。

番号	カテゴリ	質問	回答方法	選択肢
39	施策	川崎市のひとり親家庭の支援施策について、あなたが利用したことがあるものを全て選択してください。	複数 選択	1. ひとり親家庭等通勤交通費助成 2. ひとり親家庭等高校生等通学交通費助成 3. 学習支援・居場所づくり事業 4. 自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金 5. ひとり親家庭等日常生活支援（エンゼルパートナー制度） 6. 高等学校卒業程度認定試験合格支援 7. 母子父子寡婦福祉資金貸付金 8. 川崎市母子・父子福祉センターサン・ライブで実施する各種相談や講習会等 9. 養育費確保支援・公正証書等作成費補助金 10. その他（） 11. なし
40	施策	川崎市のひとり親家庭サポートガイドブック「まなざし」（Web版を含む）を知っていますか。	単一 選択	1. 知っている（持っているまたは見たことがある） 2. 使ったことがある 3. 知らない
41	施策	ひとり親家庭サポートガイドブック「まなざし」の感想、印象や御意見があれば教えてください。	自由 記述	自由記述
42	施策	川崎市のひとり親家庭LINEまたはメールマガジンを登録していますか。	単一 選択	1. 両方登録している 2. LINEを登録している 3. メールマガジンを登録している 4. 知っているが登録していない 5. 知らない
43	施策	川崎市のひとり親家庭LINEまたはメールマガジン登録していない理由を教えてください。	複数 選択	1. 別の方法で情報を収集できるから 2. 登録が手間だから 3. メール・LINEを使わないから 4. 自分に役に立つ情報がないから 5. その他（）
44	施策	川崎市のひとり親家庭LINEまたはメールマガジンで配信される情報のうち、どのような情報に興味がありますか。	複数 選択	1. サン・ライブの講座やセミナーの情報 2. 各種手当や給付金、貸付金制度の情報 3. 親子で参加できるイベントの情報 4. 食料・物品提供の情報 5. 子育てに関する様々なセミナーや講演の情報 6. その他（） 7. 興味のある情報はない
45	施策	川崎市のひとり親家庭LINEまたはメールマガジンで配信してほしい情報はありますか。または、どんな情報を配信していると、登録しようと思いますか。	自由 記述	自由記述
46	施策	ひとり親家庭が利用できる支援や制度について、どのような方法で情報を得たいですか。	複数 選択	1. 郵便によるお知らせ 2. 川崎市のホームページ 3. 川崎市が運営するメールマガジン・SNS 4. サポートガイドブック「まなざし」 5. 川崎市ホームページ以外のインターネット検索 6. 川崎市以外のSNS投稿 7. その他（）
47	その他	その他、市の施策に対するご意見やご要望がありましたら、ご自由に記入してください。	自由 記述	自由記述